

一三三四番

奥山おくやまの 岩いはに苔生こけむし 恐かしこけど 思おもふ心こころを いか
にかもせむ

一三三五番

思おもひ余あまり いたもすべなみ 玉たまだすき 畝傍うねびの山やま
に 我標われしめ結ゆひつ

一三三六番

冬ふゆごもり 春はるの大野おほのを 焼やく人ひとは 焼やき足たらねか
も 我あが心こころ焼やく

一三三七番

葛城かづらぎの 高間たかまの草野かやの はや知しりて 標刺しめささましを
今いまそ悔くやしき